

令和7年度 第5回瑞浪市社会教育委員会

日時：10月21日（火）14:00～

会場：総合文化センター 視聴覚室

1 開会の言葉（伊藤副代表）

2 挨拶（加藤代表）

3 研修「アンケート結果から見えてきた成果と課題の確認」

「提言の項目と具体的な内容について」グループ別検討

（1）成果と課題について

＊11月30日までにメール（FAX）にて修正案を提出ください

・説明を基に、提言に向けたグループ別検討の材料とする

（2）グループ別検討

・提言の項目と内容の検討

以下の案に基づいてグループ別検討

（案）

1 ふるさとに誇りをもつことのできる CS と地域学校協働活動の在り方

（1）学校の教育活動と地域の活動の関連を強化

（2）活動を通して育てる姿の明確化

（3）児童生徒を地域の一員として位置付けた交流の場の拡大

2 多世代間のつながりと持続可能な活動に向けて

（1）機能的な組織と負担の軽減（組織の一元化・青少年組織・青年世代団体）

（2）多世代間の構成員枠設定（青年世代の組み込み・記録映像作成など）

（3）多世代の地域住民が参画できる活動の工夫

・上記の2つの提言項目について、この項目、この文言でよいか。

・上記の2つの提言項目の内容（1）～（3）について、内容、この文言でよいか。

・内容について、その具体案（提言の具体・方法等）を多く出し合う。（本日のメイン）

○アンケート調査の成果と課題、自由記述欄などから提言のヒントはあるが、それを取り上げるだけでは提言にはならない。また、「課題を改善しよう」などの具体的な提案（方法）がないものも提言としては効果がない。熟議する中で瑞浪市の課題を解決していけるような提言を捻り出したい。

(4)各グループで分析

提言の具体・方法等を多く出し合う。

A グループ

*代表者は発表をお願いします。

加藤代表(陶)、板橋委員(日吉)、湯原委員(釜戸)

岩島委員(土岐)、滝川委員(瑞浪)

B グループ

伊藤副代表(瑞浪)、小栗委員(稲津)、平尾委員(大湫)

安藤委員(明世)、浅沼委員(土岐)

・付箋に【1-(1)、2-(3)】と書き、その具体的内容について書き込む。

グループで検討し、強調したい提言(内容)についてはより具体的に、マジックで強調するなどしてください。(完成した記録を基に提言書を作成します)

(6)提言書について

・提言書(目次)

- | | |
|-------------------------------------|----------------|
| 1 はじめに(巻頭言) | 【加藤代表】(~2/10) |
| 2 研究テーマ及びテーマ設定理由 | 【事務局】 |
| テーマ:「ふるさとに誇りがもてる世代間の交流促進について」 | |
| 3 調査結果 | 【事務局】 |
| ・アンケート結果の分析から見てきた成果と課題【メールなどにて修正案を】 | |
| 4 提言(*10月21・12月16日検討) | 【各委員】【事務局】 |
| ・課題解決に向けた方途・提言の内容について | |
| 5 おわりに | 【伊藤副代表】(~2/10) |

(7)今後の見通しについて

第5回 10月21日(火) 14:00	・質問1~7の分析内容原案の確認 ・テーマに関わる課題と解決に向けた方途の検討 (ABグループ別作業)
第6回 12月16日(火) 14:00	・テーマに関わる課題と解決に向けた方途の原案検討 ・提言についての検討
第7回 2月17日(火) 14:00	・提言書についての最終確認 ・来年度について
2月下旬 3月下旬	・教育長への報告 ・教育委員会定例会にて提言書提出

4 閉会の言葉（伊藤副代表）

次回：第6回社会教育委員会定例会

日時：令和7年12月16日（火）14：00

場所：瑞浪市総合文化センター 視聴覚室